



←
分科会等名：IAU 分科会←

←

■ 第26期

- 設置提案書提出
- 今後も継続予定

■ 昨年10月より

(国際団体対応継続のため、通常よりもやや早く発足)

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) ←	物理学委員会←
2	委員の構成←	30名以内の会員又は連携会員←
3	設置目的←	IAU(国際天文学連合)を通して天文学の国際協力活動を行うための国際対応委員会。IAUは1919年に設立された世界の天文学者が集結する世界組織で、ICSUに属する30の学術団体の1つである。2023年現在の加盟国は85ヶ国、会員は約13,000名である。IAUの新会員は、各国内で審査の後に推薦されることになっており、本委員会は日本の国内委員会として設置されるものである。なお、日本の個人会員数は現在約800名で、米、仏、中国に次いで第4位である。← また、IAUで定められた様々な定義や学術用語なども本委員会で議論し、その和訳を含めた国内への広報活動も担うと同時に、IAUの様々な活動に対しての参加・協力について審議することも本委員会の設置目的である。←
4	審議事項←	1. IAUの新会員の推薦 ← 2. IAUの活動への参加・協力と広報 ← 3. IAUの組織やルールの検討← に係る審議に関する事←
5	設置期間←	令和5年10月1日 ~ 令和8年9月30日←
6	備考←	※事実上25期より継続←



IAU分科会 報告

- IAU分科会 2023年12月12日(火) 第1回
 2024年 1月29日(木) 第2回

■ 審議事項

▶ 正会員、ジュニア会員について

- 申請があった正6名、ジュニア6名について、各人について審議し、全員を候補者として承認:IAUのMembership Committeeへ申請、現在審査中
- (MCから1名追加するよう依頼があり、委員会承認の上、ジュニア1名追加予定)

▶ 名誉会員の推薦について

- 1件の推薦があり、審議の結果、承認:IAUのECへ申請、現在審査中



IAU 分科会報告（！重要！）

■ IAUの会員募集

- ▶ ジュニア会員・正会員とも**毎年募集中**！
- ▶ スケジュール:
 - 10月頃 募集開始、応募サイトのオープン
 - **12月中旬** 応募〆切
 - レギュラー会員は学位取得後5年以上が目処で、それに満たない方はジュニア会員へ申請を
 - 特に **PhD Prize** へ応募される方はジュニア会員申請は必須

■ 来年1月頃の IAU分科会 で審議

- ▶ IAU Nomination Committee へ推薦



IAU分科会 報告(前回報告)

■ PhD Prize のハイライト: Honorable mentions

- Division E Sun and Heliosphere:
 - **Yuto Bekki**, Germany, “Theory of solar oscillations in the inertial frequency range”
- Division F Planetary Systems and Astrobiology:
 - **Misako Tatsuuma**, Japan, “Material Strength of Dust Aggregates in Planet Formation”
- Division J Galaxies and Cosmology:
 - **Kana Moriwaki**, Japan, “Analysis of the Large-Scale Structure of the Universe Using Cosmological Simulations and Machine Learning”

■ 今後も積極的に応募をお願いします

- **ジュニア会員への応募と同時に**



IAU分科会 報告

- IAU分科会 2023年12月12日(火) 第1回
 2024年 1月29日(木) 第2回

■ 報告事項

- -1. APRIMの開催報告について(渡部)日本政府観光局(JNTO)で将来の国際会議開催の実例として取り上げられた
- 一一> [tennet:919] ですすでにお知らせ済み



誘致・開催レポート

地域社会を巻き込んだコンテンツと運営体制で、地方開催を成功に導いたAPRIM2023

東日本大震災から復興した福島県郡山市で、多くの国々からの参加者を迎えAPRIM2023が開催されました。地方開催では、国際会議の運営に必ずしも慣れていないことで、課題や懸念もありますが、APRIM2023では、それら一つ一つを地元のステークホルダーとクリアし、最終的に会議そのものだけでなく関連企画等により、一般市民も含めた幅広い層の参加を得た国際会議となりました。チャレンジを地元を巻き込んで開催成功に導いた組織委員会の渡部委員長及び国際天文学連合のデブラ・エルメグリーン会長にお話をうかがいました。

会議概要

会議正式名称	Asia-Pacific Regional IAU Meeting 2023 (APRIM2023)
開催期間	2023年8月7日～8月11日
開催都市/会場	福島県郡山市 / ビッグパレットふくしま
参加者数	474名 (会場参加：385名、オンライン参加：89名)
ウェブサイト	https://aprim2023.org/

日本側ホストの声

海外主催者の声



<https://mice.jnto.go.jp/organizer-support/case-study/detail/aprim-2023.html>



IAU分科会 報告(続き)

■ IAU分科会 報告事項(続き)

- 2. NAEC日本チーム報告について(富田)
- ・OAE (IAU)との協力、情報共有、国内関連団体への重要・有用情報の提供・協力、日本の天文用語集へのリンク、各種情報回覧など



本研究会について

会員の皆さまへ

活動

会員からの投稿

会誌・集録

IAU天文教育コーディネーターWG

・活動目的

国際天文学連合 (IAU) の教育のための天文学推進室 (OAE) より、OAEと日本の天文教育をつなぐ世話の役として天文教育コーディネーター (NAEC) のチーム立ち上げが要請された。

これを受け、IAUの日本側窓口である日本学術会議天文学・宇宙物理学/IAU分科会からの助言等を受けながら、日本天文教育普及研究会、日本天文学会天文教育委員会関係者で意見交換を行い、2020年5月にNAEC日本チームを立ち上げた。特に学校教育での天文教育について、国際連携を視野に入れた調査や資料収集を見込んでいる。この活動の拠点として日本天文教育普及研究会にWGを置いて始動し、日本天文学会と連携し、日本地学教育学会や学校教員の団体と連絡を取り、そしてIAUのアウトリーチのための天文学推進室OAO (国立天文台内設置の国際普及室) と連携し、調査や資料収集を行いたい。

・活動内容

日本天文学会・日本地学教育学会・学校教員の団体と連携し、日本のNAECチームとしての基盤を形成する。IAUのアウトリーチのための天文学推進室 (OAO) と連携し、調査や資料収集を行う。なお、活動予定期間とし

活動

▼ 天文教育研究会 (年会)

▼ 支部会

▼ ワーキンググループ (WG)

・ 教材・指導事例提供WG

・ Mitakaによる天文教育/普及WG

・ IAU天文教育コーディネーターWG

・ 若手天文教育普及WG

・ 天文教材のリソース調査WG

・ 過去のワーキンググループ



IAU分科会 報告(続き)

■ IAU分科会 報告事項(続き)

- 3. その他
- IAU総会について(渡部)
- [tennet:831] 第32回 IAU 総会のご案内」でお知らせ済
- 南アフリカ・ケープタウン



XXXII IAU GENERAL ASSEMBLY

CAPE TOWN, SOUTH AFRICA, 2024

6-15 AUGUST



XXXII IAU GENERAL ASSEMBLY

6-15 August 2024

Cape Town, South Africa

XXXII IAU General Assembly 2024
Iconic Venue | Cape Town International Convention Centre, beneath the majestic
Table Mountain.

[Home](#)

[About the IAU GA 2024](#)

[Why Should I Attend?](#)

[Important Dates](#)

[Abstracts & Grants](#)

[Registration](#)

[Programme](#)

[Exhibitors & Sponsors](#)

